



戦後日本の農業政策

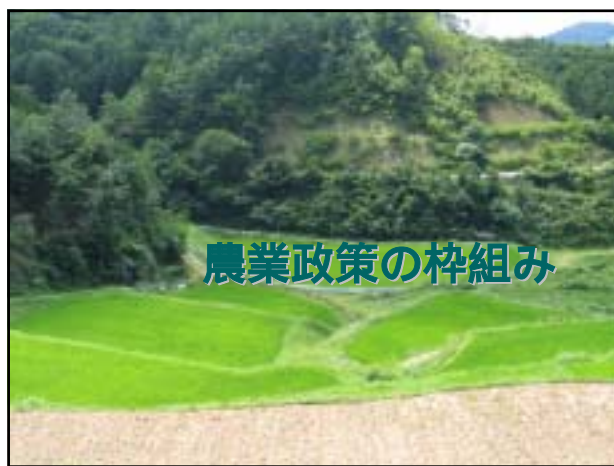
農業政策は農業問題にどう対応しようとしてきたか？

本日のテーマ

- 農業政策の目標と生産振興の位置づけ
- 基本法農政は農業構造をどのように変えようとしたのか？

キーワード:

農業基本法, 自立農家, 選択的拡大, 農業の近代化, 総合農政



農業政策の枠組み

農業政策の目標

農業政策: 農業に対する政策

狭義 農業生産・経営に対する経済政策

広義 農業・農村における経済社会政策

農政の要件

目標, そのための政策手段, 予算, 政策遂行の結果を評価するシステム

農政が扱う分野

- 食料問題
- 農業問題
食料過剰, 農産物の価格低下, 農家所得の低水準, 食料自給率の向上, etc.
農業生産構造に起因している諸問題
- 農業生産にかかわる環境問題

時代とともに変わってゆく

- 目標の二面性

1) 効率 efficiency

価格メカニズム, 市場原理にもとづく農業作り
農業を産業としていかに自立させるか! ?

2) 公正 equity

所得分配に関する領域, 社会的正義として扱っている

ウエートの置き方は時代によって異なる

農産物需給と生産政策

成長農産物の選択的拡大

農産物 需要に関する「価格弾力性」「所得弾力性」が低い商品(価格の変化に対して、需要の変化が少なく、所得があがっても農産物の需要は増えない)

エンゲルの法則 生活水準が向上すると、食料品に支出される所得割合が減少。食料品の内容も変化

消費動向の変化に対応できる生産

インフラ(ハード)の整備

生産基盤の整備,機械化などの経営近代化,市場流通制度の充実,etc

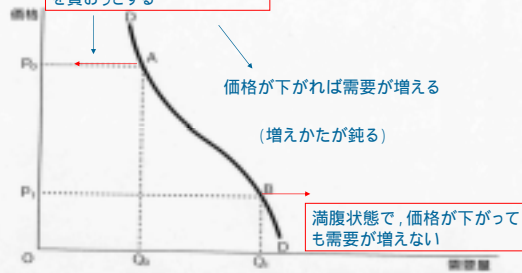
農業金融の整備

価格政策による生産刺激

食料の需要曲線

消費者はどんな価格でも食料を買おうとする

家計費の多くを食料支出にまわす(エンゲル係数 高)



価格が下がれば需要が増える

(増えかたが鈍る)

満腹状態で、価格が下がっても需要が増えない

(エンゲル係数 低)

(参考) 価格弾力性, 所得弾力性

1) 価格弾性値

価格変化に対する需要の変化率

消費者は、価格が上がれば、需要量を減らし
価格が下がれば、需要量を増やす

$$\text{価格弾性値} = \frac{\text{需要の変化率}}{\text{価格の変化率}} \quad \text{通常この値はマイナスとなる}$$

2) 所得弾性値

所得の変化に対する需要量の変化

$$\text{所得弾性値} * = \frac{\text{需要の変化率}}{\text{所得の変化率}}$$

必需的な食料品: 所得弾性値が小さい
米, 野菜

嗜好品的な食料品: 所得弾性値が大きい
果物, 肉類

* 消費支出で代替させるのが一般的

農産物価格および所得政策

1) 農産物市場の不安定性

- 供給面 自然条件の影響

需要面 食料品の価格弾力性の小ささ

豊凶変動によって大きな価格変動にみまわれる

- 生産に長い期間が必要(農業固定資本の形成にも!)
- 予想にもとづいて不確実性によるリスクに直面

農産物価格安定政策

- 農産物価格の暴騰対策
- 農産物価格の暴落対策

2) 農産物価格支持政策

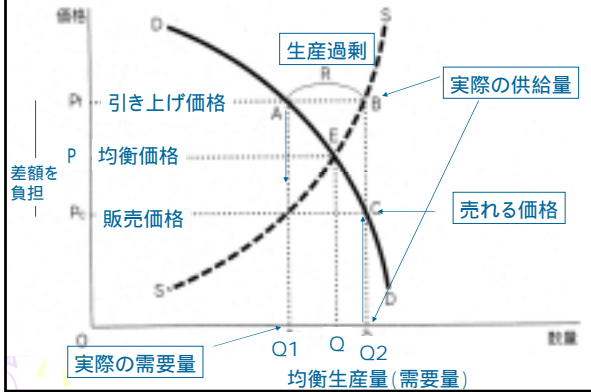
政策的に価格をきめる(市場での需給動向で価格が決まるのではない)。

基準になるのは？(農産物の市場均衡価格が低すぎる)
農業純収入(農業粗収入－支払費用)が、農家の生活費として十分かどうか(都市勤労者世帯との比較)

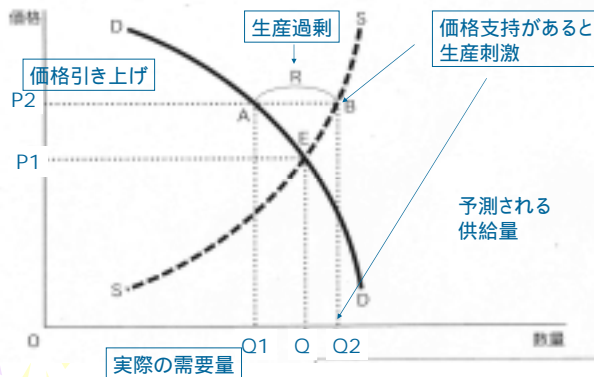
過剰生産: 農産物の価格を需要と供給が均衡する水準以上に引き上げようとする、需要は減少し、供給は増加する

防ぐ手段: 1) 二重価格制度
2) 生産割当

農産物市場の二重価格制度



生産割当による価格支持



農業構造と土地

1) 経営規模の拡大

農地は生産手段であるが、重要な資産として考える傾向
農地の流動性が極端に低い
「規模の経済性」(economies of scale)を追求しにくい環境

方策

- 1 農地流動化の促進
 - 2 土地基盤整備の充実
 - 3 経営希望拡大に対する補助・助成
 - 4 協業組織など集団の生産組織の育成
 - 5 機械技術の確立と普及
- => 基本法農政下に開始「構造改善事業」

2) 担い手対策との結合

- 1 効率的・安定的な農業経営の育成(農業構造改革との連携)
- 2 農業を専門的に営む者のための条件整備
- 3 家族経営の活性化, 法人化
- 4 農地の確保と有効利用
- 5 担い手, 人材の確保

→ 農業構造へのアプローチ

能力のある専業農業者の確保に重点
平等主義からの転換

農業環境政策の流れ

1) 環境政策との合流・発展

環境悪化による環境問題の発生
農業がもつ環境保全機能の発揮と環境負荷の軽減
環境悪化の改善, 維持にどう貢献できるか?

環境保全型農業の模索:

農業のもつ物質循環型機能をいかし, 生産性との調和などに留意しつつ, 土づくり等を通じて化学肥料, 農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的農業

農業がもつ外部不経済効果を減らす

生態系の保全と資源利用の両立

- 1 土地や水などの農業資源の維持, 生態系維持, 物質循環メカニズムの維持
- 2 安全性確保
- 3 農業・農村景観の保全と活用, etc

農政の流れ:

市場の内部で評価されず, 費用や価格に反映されない社会的な費用や便益を正しく把握。

農業自由化時代の新しい目標

農業のもつ多面性, 公益性に着目

(参考) 外部不経済と外部性の問題

外部不経済 市場の内部で評価されず, 費用や価格に反映されない社会的な費用や便益。

例 公害問題 その処理には費用がかかるが, 発生源の企業が処理費用を負担しない。

農業の環境機能の発揮

社会的な便益は大きい, 市場で評価されず対価の支払が行なわれない。所得分配が過小になり, 環境機能の質が低下

演習問題

- 1) 中山間地農業が存在することのメリットを農業政策が認め, 必要な施策をとるとすれば, どのように国民にアピールすればよいだろうか。
- 2) 農産物価格支持政策がもつ効果と弊害について, 説明しなさい。

(参考) 市場の役割と「市場の失敗」

- 市場 企業や家計, 個人などの需要者と供給者が出会い取引を行なう抽象的な場
需要と供給が調整され, 均衡価格で取引がおこなわれると想定(市場メカニズム)

均衡価格をもとに資源の効率的な分配がおこなわれる(生産に要する費用が適切に表現)

独占・寡占など, 競争が排除され, 独占価格が形成されると, 資源分配の効率性がなくなり, 所得分配に公平性が欠けるようになる 「市場の失敗」

(参考) 政府の役割と「政府の失敗」

- 政府 市場での公正な競争の実現と資源配分の効率性の確保を実現するために, 調整機能を果たす別組織が必要
=> 「政府」

共同的に消費する公共財を提供し, 管理

政府の権限や機能が肥大化, 非効率性が生じる

政府による資源の非効率な使用がもたらす社会の純効用の低下

* 公共財の供給過剰(経済発展に不可欠な公共財を供給する財政余力を失わせてしまう), 労働効率が低い, etc.

(参考) 農業技術変化の方向

- 土地, 労働, 資本という生産要素の結合様式をもって技術の特徴をあらわす

1) 労働集約的技術 or 資本節約的技術

資本財を用いないで, 労働を多投して生産を行なう場合

2) 資本集約的技術 or 労働節約的技術

資本財をもって労働を代替するような技術

一般的には,

粗放の = > 労働集約的 = > 労働・流動資本集約的 = > 流動・固定資本集約的, という流れ

- 農業固定資本財 建物,自動車,農機具,植物,動物など(土地を除く),農業生産過程に固定されて繰り返し使用される資本財。使用される過程で,価値の一部分は次第に生産物に以降し,その価値は減価していく
- 農業流動資本財 肥料や農薬,労働力など,一回の生産過程においてその価値全体が生産物に移転するもの

農業生産の特徴との関連

B C過程 流動資本集約的技術の展開

種子,肥料,農薬の使用に重点をおいた技術体系で,収量増加型技術(土地生産性向上技術)と特徴づけられる

M過程 固定資本集約化の展開

機械化に代表され,収量水準の改善より,省力技術(労働生産性向上技術)の推進を特徴とする